

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 4 巻第 13 号

第 13 週 (3 月 22 日 ~ 3 月 28 日)

発行年月日:平成16年(2004年) 4月 2日

発行 行 :滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

* 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律及び検疫法の一部を改正する法律が平成15年11月5日から施行されました。

1) 全数報告の感染症 (1類 ~ 5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (13週)	累積報告数		平成15年報告数	
			滋賀 (13週)	全国 (12週)	滋賀	全国 ^(*)
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	3	72	7	459
	パラチフス	0	0	3	0	38
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	86	8	2635
4類感染症	エキノコックス症	0	0	9	0	17
	オウム病	0	0	6	1	44
	ツツガムシ病	0	0	47	2	380
	レジオネラ症	0	0	24	1	143
5類感染症	アメーバ赤痢	0	2	114	3	504
	ウイルス性肝炎	0	0	54	3	634
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	36	3	115
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	13	0	52
	後天性免疫不全症候群	0	1	190	8	949
	梅毒	0	2	101	2	493
	破傷風	0	0	11	1	69
	急性脳炎	0	0	5	0	98

(* 1) 平成15年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

2) 定点把握の対象となる5類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	1.14	2.09	1.00	0.29	0.38	2.43	0.20	0.67	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	0.06	0.14	0.17	0	0	0	0	0	
A群溶連菌咽頭炎	1.94	0.14	4.00	2.00	2.60	1.25	0.60	5.00	
感染性胃腸炎	8.55	11.57	17.67	6.75	4.00	4.75	3.20	6.50	
水痘	1.33	0.86	3.17	0.50	1.60	1.50	0.40	0.50	
手足口病	0.03	0	0.17	0	0	0	0	0	
伝染性紅斑	0.12	0	0.50	0.25	0	0	0	0	
突発性発疹	0.61	1.14	0.67	0	0	1.25	0.20	1.00	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風疹	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	
麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	0.18	0	0.67	0	0	0	0.40	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ (<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>) において公表されています。

0 2 4 6 8 10
定点当たり患者数

3) 今週のトピックス

A群溶連菌咽頭炎の発生は全国においても増加傾向 RSウイルス感染症の発生状況

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(3月15日～3月21日)の報告数よりさらに減少していますがA群溶連菌咽頭炎の報告数については増加しています。また、定点当たり患者数については、A群溶連菌咽頭炎、突発性発疹等で増加し、インフルエンザ、伝染性紅斑、流行性耳下腺炎等で減少しています。

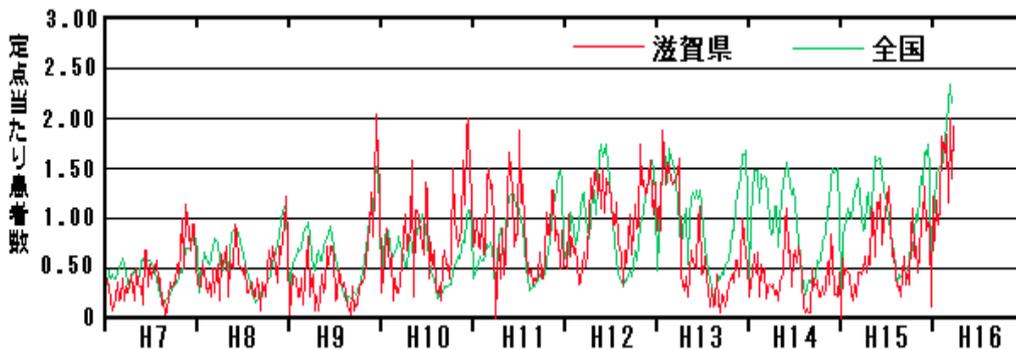
インフルエンザについては、第6週の定点当たり患者数(35.55)をピークに減少傾向を示し、第13週も減少し1.14となっています。

A群溶連菌咽頭炎については、先週の定点当たり患者数1.39より増加し1.94となり、昨年の同時期の定点当たり患者数0.44よりかなり多くなっています。特に、**草津、今津保健所**管内の定点当たり患者数はそれぞれ4.00、5.00と多くなっています。また、全国の発生状況(第11週)についてみると過去10年間で最も多くなっています。

感染性胃腸炎については、先週の定点当たり患者数より減少し8.55となっています。**草津保健所**管内において17.67と多くなっていますので引き続き感染予防に対する十分な注意が必要です。

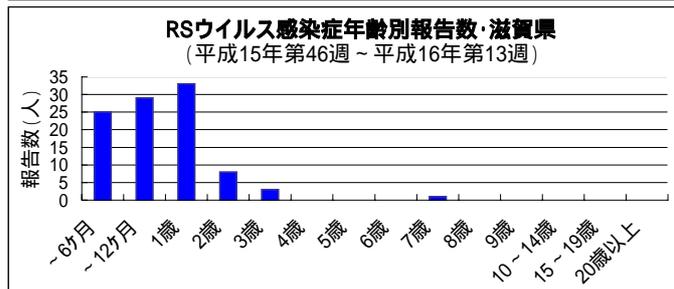
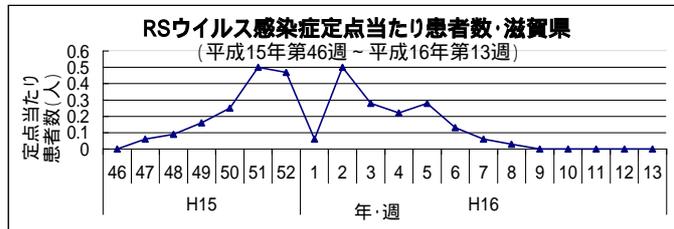
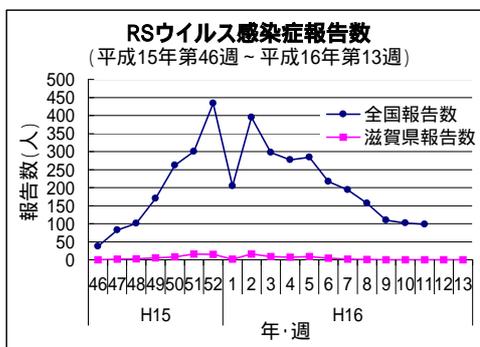
流行性耳下腺炎(ムンプス、おたふくかぜ)については、先週の定点当たり患者数0.79より減少し0.18となっています。

A群溶連菌咽頭炎の年別定点当たり患者発生状況(H7～H13)



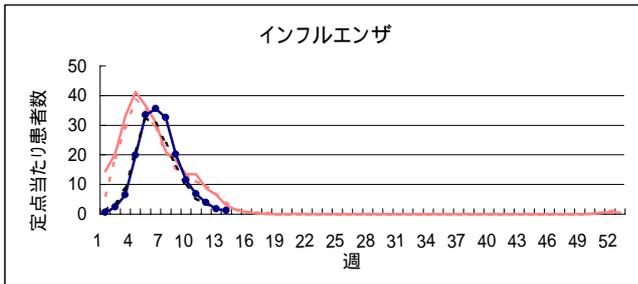
平成7年第1週から平成16年第13週のA群溶連菌咽頭炎の発生状況についてみると、滋賀県における定点当たり患者数は、平成16年第2週から増加傾向となり平成13年～平成15年の同時期よりかなり多くなっています。また、全国における定点当たり患者数は、過去10年間(平成7年～平成16年)で最も多くなっています。

RSウイルス感染症の発生状況(平成15年第46週～平成16年第13週、H15.11.10～H16.3.28)

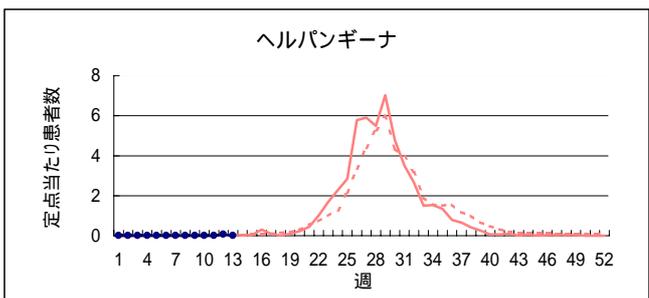
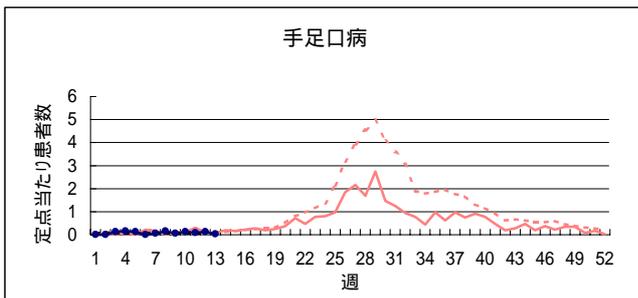
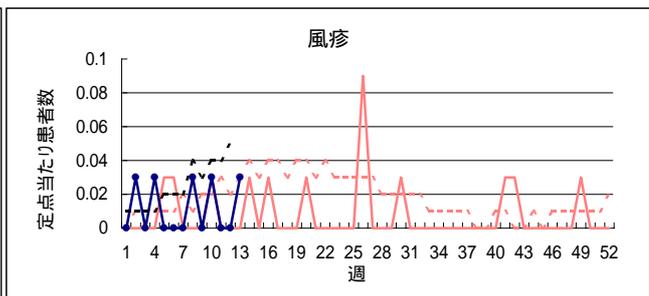
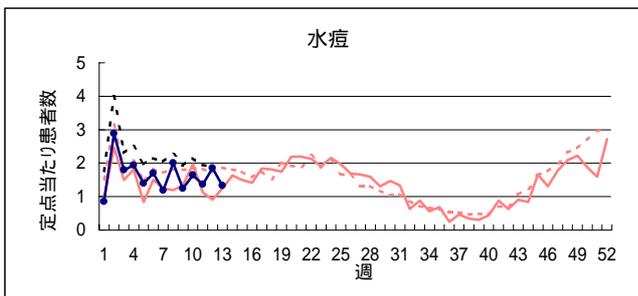
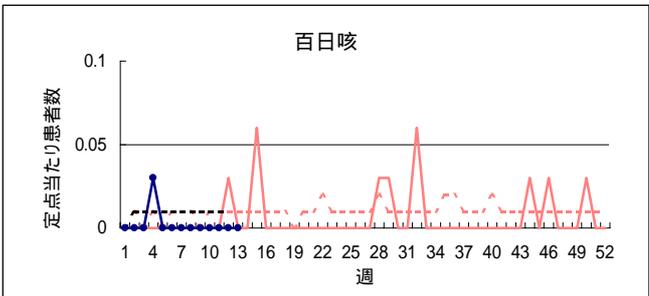
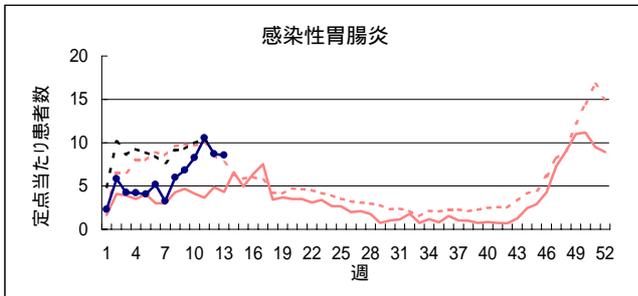
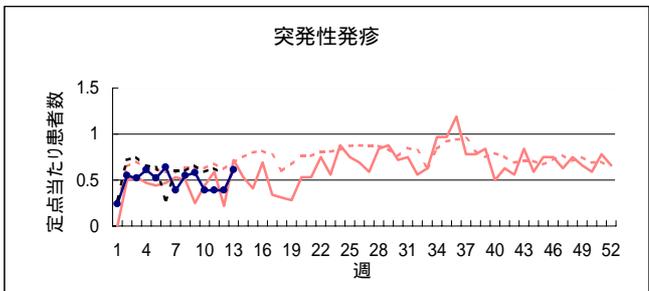
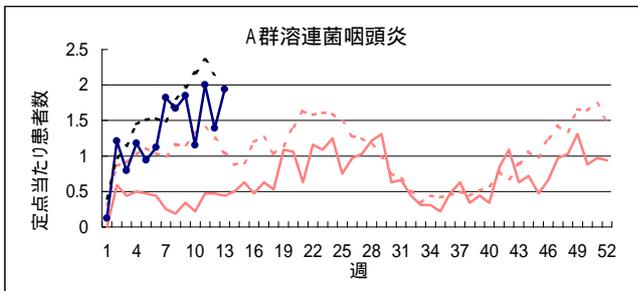
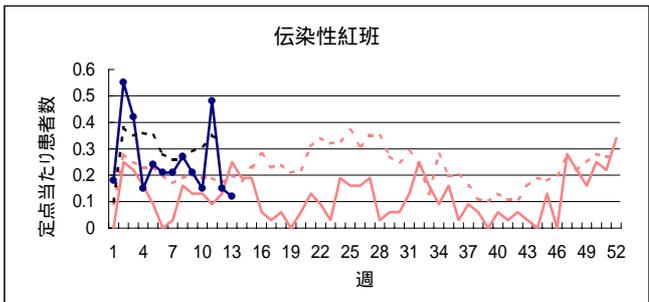
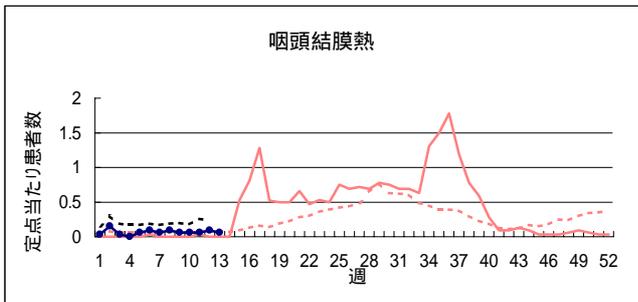


平成16年第1週の報告数の減少は休業している定点医療機関が多いためと考えられます。また、全国の定点当たり患者数については集計されていません。

疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第13週、H15.12.29～H16.3.28)



H15 { 滋賀 (solid red line)
 全国 (dotted red line)
 H16 { 滋賀 (solid blue line with dots)
 全国 (dotted blue line with dots)



疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第13週、H15.12.29～H16.3.28)

H15 [滋賀 ———— 全国]
 H16 [滋賀 ●——● 全国]

